

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：温暖化対策課
 担当名：埼玉ナビゲーション担当
 内線：3037 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B6	先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	ヒートアイランド対策推進費	
事業期間	平成28年度～平成30年度	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律 埼玉県地球温暖化対策推進条例		戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築			
					分野施策	040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進			
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>ヒートアイランド現象は、人工被覆面の増加、都市への建築物の集積、人工排熱の増加などが主な原因であり、都市化した地域に共通した大きな課題となっている。そこで、総合的にヒートアイランド対策を施した先導的な住宅街モデルを示し、県が「先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル」として認証を行うことにより、民間事業者の持つ技術力、営業力と県の信用力を合わせ、住宅街単位でヒートアイランド現象の緩和を図る。</p> <p>補助金が当初の見込みを下回ったことによる減 (1)先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル事業 △12,431千円</p>				<p>(1) 事業内容 風の流れに配慮するなどヒートアイランド対策に係る街区計画をもとに、環境性能舗装や統一性のある緑化の取組、住宅の断熱化など、総合的なヒートアイランド対策を施した先導的な住宅街の開発について、県で審査を行い、「先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル」として認証するとともに、事業費の一部を補助する。 民間事業者の持つ技術力、営業力と県の信用力の相乗効果で、ヒートアイランド対策の県全体への普及を図る。 ア 先導的ヒートアイランド対策住宅街への補助 35,143千円→22,716千円 下記の先導的ヒートアイランド対策にかかる経費の1/2を補助 (ア) 良好な住宅街形成 ・ヒートアイランド対策にかかる街区計画の策定 ・環境性能舗装 ・公園等緑化面積の超過設置【彩の国みどりの基金を充当】 (イ) 良質な住宅促進 ・屋根の断熱化 ・外壁の断熱化 ・冷却システムの設置（2種類以上） (ウ) 提案型ヒートアイランド対策 イ 先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル認証事務費 109千円→105千円</p> <p>(2) 事業計画 平成28年度から平成30年度までに3か所の先導的モデルを創出する。</p> <p>(3) 事業効果 ・風の流れに配慮したまちづくりや道路への蓄熱の抑制などにより、住宅街におけるヒートアイランド現象が緩和される。 ・先導的モデルとして県内外に積極的に発信することで、住宅街におけるヒートアイランド対策のあり方を示すことができる。 ・県が先導的モデルとして認証することにより、事業者にとってもヒートアイランド対策に積極的な優良分譲事業者として企業イメージの向上につながる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 開発事業者から先進的な取組の提案を募り、補助を行うことで民間の活力を引き出す。</p> <p>(5) 補正予算の概要 ア 補助金の交付決定額が当初の見込みを下回ったことによる減額 △12,427千円 イ 事務費の節減に伴う減額 △4千円</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県1/2) 民間事業者1/2									
3 地方財政措置の状況 普通交付税（包括算定経費） (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
				財 源 内 訳					
予算額		繰入金						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△12,431						△12,431	22,821	
現計額	35,252	1,350					33,902		